

大会宣言

三重県公立小中学校教頭会は「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」の主題のもとに、第56回定期総会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、急速に世の中や学校に大きな変化をもたらしました。「予測困難な社会」が現実のものとなった今日、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが求められています。

とぎれのない学びを実現するため、GIGAスクール構想により、子どもたちの学び方が大きく転換しました。ICT活用の必要性も今まで以上にクローズアップされ、地域間格差等々新たな課題も生まれてきています。

今後、予測困難な社会においても活躍できる人材を育成するには、新たな時代に適した学び方が大切です。学習指導要領に「新しい時代を生きる子どもたちに必要な力」として提示された資質・能力の3つの柱（学びに向かう力、知識および技能、思考力・判断力・表現力）の実現に向けて、取組を進めているところです。

このような中、私たち教頭は、常に先を見据えて学校組織を活性化し、教職員の意識改革・人材育成を推進しながら、新しい時代に対応した柔軟で適切な学校運営を模索し、働き方改革のさらなる具現化を図り、「新たな魅力ある学校づくり」を進めていく必要があります。

ここに教頭会は、常に学ぶ姿勢を忘れず、児童生徒のよりよい成長をめざし、強い意志を持つ教育政策への提言能力を備えた職能団体として「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」に向けて邁進することを宣言します。

令和3年5月7日

三重県公立小中学校教頭会 第56回定期総会